

# 暫定2車線用ワイヤロープ LD種



東九州自動車道(末吉財部IC~国分IC)

## 暫定2車線高速道路の 安全性を大幅に向上します。

ラバーポールと同等のスペースで設置が可能、  
拡幅工事の必要はありません。

暫定2車線用ワイヤロープLD種は、ラバーポールと同等のスペースで設置することができます。現在、ラバーポールが設置されている区間に車両の突破防止効果を備えたワイヤロープLD種を設置することで道路の安全性が大幅に向上します。また、道路の拡幅工事の必要がなくコンクリート基礎を設置しないことから短工期で施工することができます。

車両衝突時、衝撃を効率よく吸収し  
安全に誘導します。

車両が衝突した際に中間支柱が変形して倒れ、ワイヤロープで受け止め衝撃を緩和し、安全に誘導します。暫定2車線用ワイヤロープLD種は、衝突時の乗員安全性を確保する高い衝撃吸収能力を有しています。



暫定2車線用ワイヤロープ LD種



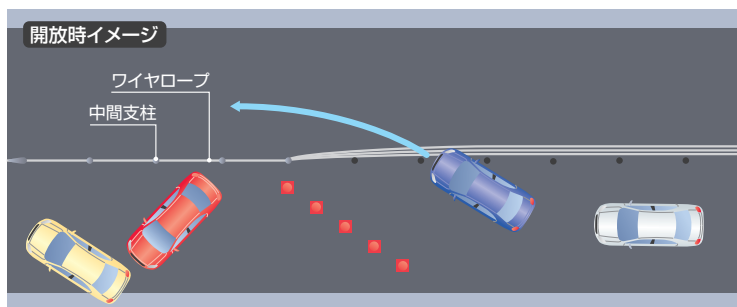
ラバーポール

事故発生後、早期に交通の解放が可能、  
短時間で復旧工事が完了します。

事故等により車線がふさがれた場合、ワイヤロープを緩めて中間支柱を取り外し、片側交互通行にすることで交通を確保することができます。また、破損した支柱を交換し、ワイヤロープを調整することで復旧工事が完了します。早期に交通の開放、復旧工事が完了することで渋滞の緩和、追突事故の抑止等の効果が期待されます。



車両衝突実験



● 暫定2車線用ワイヤロープ LD種の“LD”は、レーンディバイダーを示します。



秋田自動車道(秋田中央IC~秋田南IC)



舞鶴若狭自動車道(若狭美浜IC~若狭三方IC)

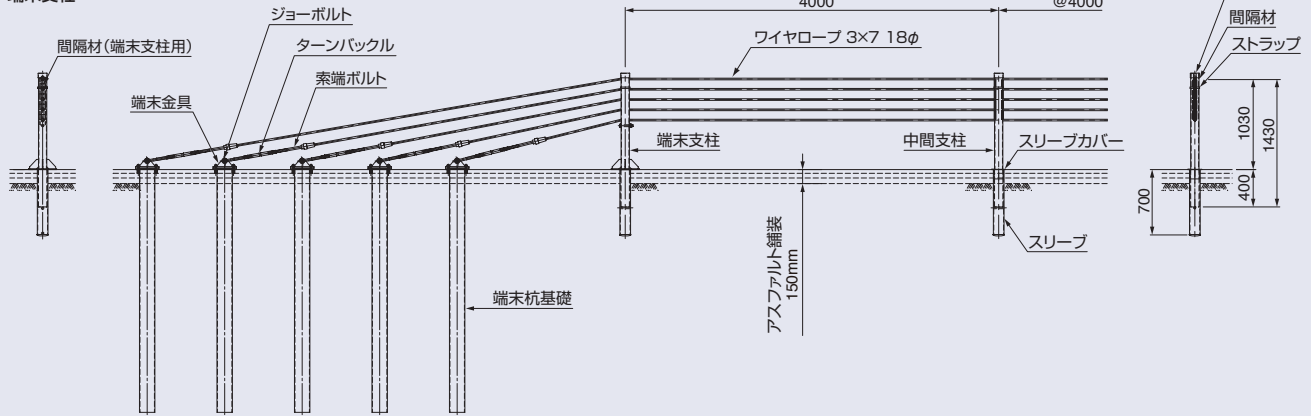


道東自動車道(夕張IC~占冠IC)

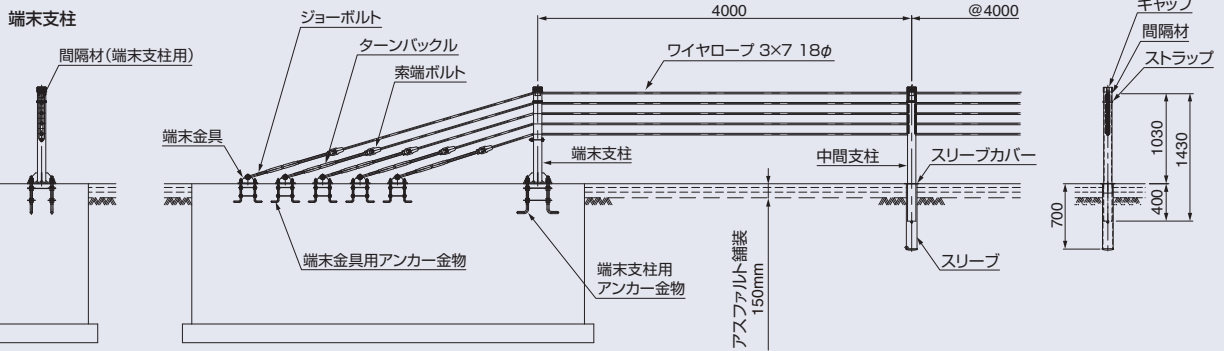
製品仕様

杭基礎

端末支柱



コンクリート基礎



部材	材質・規格	表面処理
ワイヤロープ	JIS G 3525「ワイヤロープ」に準拠 3×7 G/O φ18mm、保証破断荷重160kN以上	素線に対し亜鉛めっきを施し、その付着量は300g/m <sup>2</sup> 以上
端末金具	JIS G 3101「一般構造用圧延鋼材」SS400	
端末支柱	JIS G 3444「一般構造用炭素鋼鋼管」STK400 JIS G 3101「一般構造用圧延鋼材」SS400	JIS H 8641「溶融亜鉛めっき」HDZT77(77μm以上) [旧HDZ55(550g/m <sup>2</sup> 以上)]またはこれと同等以上
中間支柱	JIS G 3444「一般構造用炭素鋼鋼管」STK400	
スリーブ	JIS G 3444「一般構造用炭素鋼鋼管」STK400	



本社 エンジニアリング事業部

〒135-8306 東京都江東区永代2-37-28(澁澤シティプレイス永代)

TEL.(03)6366-7788 FAX.(03)3643-7550

支店●札幌・盛岡・仙台・名古屋・大阪・九州 営業所●新潟・長野・広島・鹿児島

エンジニアリングセンター●東日本・関西・北九州

<https://www.tokyorope.co.jp>

●代理店

支店・営業所の詳細

<https://www.tokyorope.co.jp/company/office.html>



\*本カタログに記載された仕様やその他内容は、品質・性能向上等のため予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。